

学習指導要領		都立板橋高校 学カスタンダード
(1) 原始 ・ 古代 の 日本 と 東 ア ジ ア	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料</p> <p>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化</p> <p>東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほうが}について考察させる。</p>	<p>[歴史と資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に遺跡や文化財があり、通史と関わることに気づく。 博物館や遺跡、史跡を自らすすんで見学する姿勢が身につく。 新聞やニュースで取り上げられる歴史や文化財に関わる事項に関心をもつ。 <p>[日本文化の黎明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本史における原始・古代の時代区分を正しく覚える。 旧石器文化、縄文文化、弥生文化の特徴を説明できる。 <p>[古代国家の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東アジアの動向の推移と連動して古代国家が形成されていくことを理解する。 律令制度による国家統治と人民支配の仕組みを理解する。 <p>[古代国家の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。 平安京遷都や東北経営の背景や意義について理解する。 平安初期の政治改革を律令体制の再編と変質の中に位置付けて捉え理解する。 藤原北家発展の具体的経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。 弘仁・貞観文化の特色を知る。 国風文化が成立する背景について、東アジア世界との関係の変化、浄土教と末法思想の広まり、貴族社会の変質などと関連付けて理解する。 <p>[社会の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄進地系荘園の発生について知る。 初期荘園が律令制支配と矛盾し拡大を遂げる中で、公領の土地政策の転換や寄進地系荘園の発達について

学習指導要領		都立板橋高校 学カスタンダード
<p>(2) 中世の日本と東アジア</p> <p>中世の日本と東アジア</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <p>イ 中世国家の形成</p>	<p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>て、地方政治と関連付けて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 武士の登場について知る。 <p>[歴史の解釈]</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な資料を活用し、「何が」「いつ」「どのように」移り変わっていったのか検討し、「なぜ」そのような出来事や変化が生じたのかを考察する。 <p>[中世国家の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。 院政の機構など専制的な政治体制などの特色を理解する。 武士の中央進出の経緯と平氏政権の成立について理解する。